

属于你的天天好日

この人の天天好日

《孩子的学校、父母的学校》

9岁时来到日本，现在已经是16岁的A，像同年级的其他同学一样，正享受着高中生活。但刚来日本时，A似乎也是毫不例外地尝了不少苦头。

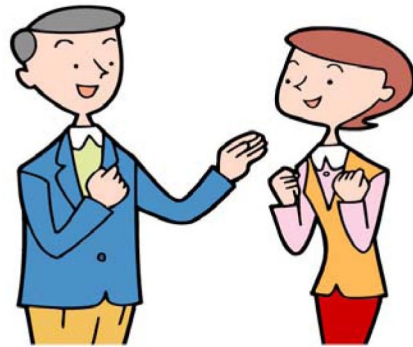
“他根本不会日语，所以与其说担心他的学习，不如说更担心别人会欺负他。有关在日本有阴恶地‘欺负人’的事，我们在中国也听说了一些。”在B市安下家来的A的父亲C先生，这样回忆儿子被编入小学四年级时的情景。不幸的是，父亲的不安竟变成了事实。几天后，A带着脸上的伤痕回到了家。C先生马上开始了行动。“听说在日本，大人是不介入孩子的争斗之中去的，但我还是选择了中国式的办法。”当时还不谙熟日语的父亲那片言只语的表达、比比划划的手势和以笔代口的努力，对A的班主任来说，去理解这位父亲想要说什么，是足够的了。最终，父亲把这件事完全交给班主任来处理。之后，从小学升入中学，一直到今天，A再也没有被“欺负”过。“还是中国式的办法有效！”C先生笑着说。



「この学校、親の学校」

9歳のときに渡日し、今年16歳になるA君は、現在日本の同級生と同じように高校生活を楽しんでいる。しかし、来日直後はご多分に漏れずいろいろ苦労したようだ。

「とにかく日本語が全然できなかったのが、学力よりもまず『いじめ』を心配した。日本の陰湿な『いじめ』の存在は中国でも伝え聞いていたから。B市に定着したA君が小学校4年生に編入した当時を父親のCさんは今こう振り返る。不運にも父の不安の中し、数日後A君は顔に傷を負って帰宅した。早速Cさんは行動を起こした。



「日本では子どものケンカに親は口を出さないとは聞いていたけど、やはり私は中国式を選んだ」。当時は日本語ではうまく話せなかったCさんだったが、片言の日本語とジェスチャー・筆談による彼のパフォーマンスは、担任が彼の訴えを理解するには十分だった。結局全てを担任の先生に託した。以来、今日までA君は小・中を通じて一度も『いじめ』を受けることはなかった。「やっぱり中国式のほうが効果あるね」、Cさんは笑った。

因为这件事的发生，促使 A 的母亲 D 女士，总是告诫自己，只要是学校的事，无论什么都要参加。当初她这样做，只是为了让班里的家长们意识到，那里有一个还不太会说日语的归国者的孩子。可是，第二次、第三次，当 D 女士去学校的次数增多之后，情况发生了变化。“我发现自己慢慢地不再是一位‘客人’，我逐渐听得懂大家谈论的话题了。在那儿，我确实实地感到不知不觉之中，自己的日语能力提高了。”另外，她最害怕的“选家长会干部”这件事，大家也十分照顾她。劝慰她说“日语太困难的话，你用不着硬着头皮参加。”并且主动把她从候选人里摘了出来。在这样的环境下，对 D 女士来说，“参与学校的活动”，竟变成了可贵的“实用日语的教室”。

在日语学习方面，D 女士还有一个帮手。那就是孩子几乎每天都要从学校拿回来的“信件”以及“通知”。“我专门挑拣汉字和数字看，大概的内容都能看懂，不过最后还是靠手里的词典读下来了。”“以前儿子在中国上小学的时候，一个班大概有 60 个学生，所以老师也没法指导得这么认真细致。一般都是口头指示一下，然后孩子们再转告给父母。不像日本传达得这么彻底。”D 女士对日本的办学方式十分欣赏。

D 女士和 C 先生在回忆当初来到日本的情景时，难免有些怀旧。如今，“孩子升高中时，交出去了材料。对那些材料内容的理解和填写，基本上都没有什么问题，都是靠我们自己来解决的！”看来，D 女士和 C 先生，已经过了“日语关”。

“我们原先以为，学校嘛，本来只是属于孩子的地方。可现在，我们感到孩子

こんな事件もあり、母親の D さんは学校の行事には何があっても出席するように心がけた。当初は保護者の人たちに、クラスに日本語がまだ不自由な帰国者の子どもがいることを認識してもらうことが目的だった。ところが2回3回と出席回数が増えてくるうちに変化が現れた。「だんだん自分が単なる『お客さん』ではなくなっていることに気付いたんです。みんなが話す話題が徐々に聞き取れるようになり、知らないうちに日本語力が伸びていることもこの場で実感できるようになりました。また、悩み事だった「クラス役員選出」の問題も気を利かせてくれた父兄の方から「日本語が大変だから D さんはまだ無理しないでいいですよ」と候補から外してもらえた。こうした環境の中で「学校行事への参加」は D さんにとって貴重な「生きた日本語教室」となった。

さらに日本語学習の面で役立つ物がある。学校からほぼ毎日のように子どもが持ち帰る「お便り」や「通知」だ。「漢字や数字を拾い読みし、大体の内容は理解できたんですけど、最後はやはり辞書を片手に頑張りましたよ。」「以前 A が在学していた中国の小学校では1クラスに60名程の生徒がいるため、教師はここまで丁寧に対応してくれなかったですからね。口頭で子どもたちに伝え、それをまた子どもが親に伝えるという形式が一般的で、日本のように通知が徹底できていなかったんです」と日本式のやり方を評価する。

こうして帰国当時は懐かしく語る D さんと C さんだが、現在は「高校入学時にたくさん書類を提出したんですけど、内容の理解も記入もほとんど問題なく、自分たちだけでなんとか処理することができました」

的学校成了我们父母和日本社会的交叉点，它缩短了 we 跟日本社会之间的距离。”

从 D 女士和 C 先生的话中，我听出了他们内心的一份明明白白的自信和安宁。

(小松)

(载自所泽中国归国者定着促进中心新闻通讯刊物《同声·同气》第32期)

い
か
かん
ふ
じゅう
と
言
う
よ
う
に
、
あ
ま
り
日
本
語
で
の
不
自
由
さ
は
感
じ
な
く
な
っ
た
よ
う
だ
。

ほんらい
おも
ばしよ
そんざい
おも
しゃかい
せってん
きより
ちち
き
さん
C
さん
の
言
葉
か
ら
は
確
かな
自
信
と
安
堵
感
が
感
じ
ら
れ
た
。

ところざわ
ちゅうごく
きこく
しゃてい
ちやく
そくしん
せんた
ー
に
ゆ
ー
ず
れ
た
ー
(とんしゃん
とんちー)
だい
ごう
の
ニ
ュ
ー
ズ
レ
タ
ー
『同
声
・同
気』
第
32
号
てんざい
より
転
載
さ
せ
て
い
た
だ
き
ま
し
た
。